

研究機関：広島大学

研究課題名	咽喉頭腫瘍切除術の周術期管理の検討
研究責任者名	広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2019年11月18日(倫理委員会承認後)～2021年4月1日
対象者	2013年4月から2019年10月の間に、広島大学病院手術部で麻酔管理下に咽喉頭腫瘍切除術を受けられた患者さんを対象とします。
意義・目的	経口的下咽頭癌部分切除術などの咽喉頭腫瘍手術は頭頸部の手術です。これらの手術では、手術後に咽喉頭の浮腫を生じるため、いかにトラブルを避けて気道管理を行うかが課題となります。これまで、術後の気管チューブを抜くタイミングを初めとした気道管理や、術後の集中治療室への滞在期間などは、術前の腫瘍の位置や大きさ、術中の手術所見などを考慮して経験的に行われてきました。これまでの本手術の症例の周術期管理を系統的に見直すことが本研究の目的です。この見直しにより、これまでの周術期の管理や合併症の発生状況について検討することに意義があると考えています。
方法	本研究は、既存の診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（手術の前後に必要な応じて行われている検査の検査値）、CTレントゲン検査、手術時間、術後の入院期間です。 個人を特定可能な情報は解析に用いません
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 助教 三好寛二